

認知症になっても 住み慣れた地域で安心して 自分らしく暮らせるために

問合せ先
高年介護課
☎35-3178
1007127
広報ID

認知症高齢者数は高齢化の進行とともに増加し、65歳以上の約4人に1人が認知症、またはその予備軍ともいわれています。

誰にでも起こりうる認知症ですが、発症しても安心して生活していくためには、家族や地域の皆さんが認知症を正しく理解して、温かく見守り、支援する地域をつくる必要があります。

今号では認知症のさまざまな相談先や支援策を紹介します。

認知症ケアパスを作成

認知症と診断された時に「どこに相談すればいいのか」「どのようなサービスを受けることができるのか」などの情報をまとめた「認知症ケアパス」を、高山市医師会と須田病院認知症疾患医療センターの監修により作成しました。

このケアパスは認知症の段階に応じた医療や介護サービスをj受ける際の目安にしてください。
※ケアパスは今号の広報たかやまの折り込みです。

相談は「かかりつけ医」や「地域包括支援センター」まで

早めにかかりつけ医を受診して治療を受けることや、介護サービス

を利用していくことで、安心して地域で暮らすことができます。また、

公益社団法人認知症と家族の会が作成した「認知症早期発見のための目安」をぜひご覧ください（窓口にあるほか、市HPにも掲載しています）。

なお、市では自分で認知機能を簡易的に調べてみたいという方を対象に「あたまたの健康チェック」を実施しています。対象は介護保険の要支援・要介護の認定を受けていない65歳から79歳の方で、認知症の診断・治療を受けていない方です。

※3月は12日(月)午前8時50分～正午に市役所(花岡町2)で開催します。先着10名、前日までに予約が必要です。

また、「受診させたいが病院に行

きたがらない」「認知症と診断されているが介護サービスの利用につながらない」など、認知症への対応でお悩みの方は、地域包括支援センターまでご相談ください。市では、認知症初期集中支援チームを地域包括支援センター内に設置し、専門のスタッフが認知症サポーターと連携を図りながら支援していきます。

認知症サポーターになりませんか

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、身近にいる認知症の方やその家族を見守り、応援する人のことです。

認知症サポーター養成講座を随時開催しますので、受講を希望される方は、企業や町内会など10人以上のグループでお申し込みください。

申込先
地域包括支援センター
☎35-2940

徘徊探索端末を貸し出し

認知症などによる徘徊行動のある高齢者を在宅で介護されるご家族などに、徘徊探索端末を貸し出して



徘徊探索端末を貸し出してあります。徘徊や行方不明による不安解消に活用してください。
費用 月額0円～500円(生計中心者の市民税額により異なります)

申込先
高年介護課
☎35-3178

認知症予防教室を開催



早めに予防の取り組みを始めることで、発症や進行を遅らせることが可能といわれています。心も体もいつまでも元気でいきいきと暮らすために、体験してみませんか。

対象 65歳以上の方で認知症の診断や治療を受けていない方
※3月は16日(金)・23日(金)に山王福祉センター(森下町1)で開催しま

TOPIC

受講した丹生川中 コンクールで優秀賞を受賞

丹生川中学校3年生の皆さんが認知症サポーター養成講座を受講され、その後、認知症の寸劇を自ら作り、授業参観で披露されました。

その様子を収録した映像が、全国キャラバン・メイト連絡協議会主催コンクール「キッズサポーター作品」の部において優秀賞を受賞。2月3日に表彰を受けられました。



受賞した丹生川中学校の代表の皆さん